

パラベンに対する認識について

2011年7月22日

パラベン(パラオキシ安息香酸及びその塩類とエステル類の総称)は一般にニパギンと呼ばれ、食品、飲料、化粧品、医薬品などに広く用いられる防腐剤である。

『化粧品衛生規範(2007年版)』の「表4化粧品成分中の使用制限防腐剤」では56種の使用制限防腐剤が規定されており、内、第38号としてパラオキシ安息香酸及びその塩類とエステル類についてはモノエステルと混合エステルの使用制限量がそれぞれ0.4%、0.8%と規定されている。基準値内での適量の防腐剤使用は微生物汚染を防ぎ消費者の安全を保障できるので、製品品質確保上不可欠である。

パラベンは食品添加物として中国でも使用を許可されており、『食品安全国家标准食品添加物使用標準(GB 2760-2011)』によって、パラベンがジャム、酢、醤油、炭酸飲料などの食品に防腐剤として使用されることが許可されている。

世界各国でも法規によって化粧品用防腐剤の種類と使用量が規定され、製品の安全性が保障されている。アメリカの独立した第三者審査機関である化粧品原料安全性評価専門家グループ(Cosmetic Ingredient Review, CIR)は化粧品中のパラベンの使用状況について評価を行い、‘現在の使用慣例に基づいた結果、パラベンは化粧品防腐剤成分として安全である’との結論を出した。またEUは、パラベンの化粧品防腐剤成分としての使用を承認している。

消費者は食品、化粧品など日用消耗品中の防腐剤について正しい認識を持つべきである。防腐剤は製品の品質保証や有害微生物の繁殖防止、また消費者の使用時の安全確保上で不可欠であり、法規で規定された濃度基準値内での防腐剤使用について、消費者は過度に心配する必要はない。但し一部の消費者がある原料に対して明らかにアレルギーを起こす可能性がある場合は、製品選択時に全成分表示の記載内容に注意すること。

中国香料香精化粧品工業協会

本資料は、中国での化粧品および化粧品原材料の製造・販売等に携る方への情報提供を目的に、中国香料香精化粧品工業協会(<http://www.caffci.org/>)のウェブサイトに掲載された当局通知の要約をBHIが独自に行ったものです。本資料の情報の完全性、正確性について当社が保証するものではありません。

BHIは、パーソナルケア製品の技術開発と、OEMを行っております。品質・性能・コストを最適化したパーソナルケア製品の開発にご興味がありましたら、弊社Web Site(<http://www.bhinova.com/>)までお越しく下さい。